

# まちづくりに民間知見

## エフレイ立地 浜通りで実証事業

復興庁は8日、福島国際研究教育機構（FIERE）、「エフレイ」が立地する浜通りを中心に民間企業の知見や技術を取り入れて実施するまちづくりの実証事業7件を発表した。交通や移住、防災などの分野で先進的な取り組みを検証し、エフレイの立地に伴い移住する研究者らの暮らしやすい環境整備につなげる。

民間企業が実施する実証 交通事業者や住民と対話し、事業は「表」の通り。この ながら地域交通を構築するうち、博報堂は相馬、田村 などの実証モデルの検討に両市で現在の交通資源を最大限に活用した上で、公共

URシステムズは南相馬

市で対話型人工知能（AI）「チャットGPT」を使い、移住者の住宅に関する問い合わせへの対応を省力化する。同時に、質問や応答の内容を分析して市民サービスを向上できるかどうかを確かめる。

ゼンリンは大熊、双葉、浪江の3町で、道路メンテナンス業務量を削減する仕組みを検証する。タクシーや公用車で取得したドライ

- ▷ オリエンタルコンサルタンツ、NTT-ME、NTTインフラネット＝3D都市モデルのまちづくりへの活用方策の検証（富岡町、浪江町）
- ▷ 博報堂＝「ヒトとマチの動かし方」共創地域公共交通デザイン実証事業プロジェクト（相馬市、田村市）
- ▷ URシステムズ＝ChatGPTを活用した市民サービスの向上（空き家等照会対応サービスを事例として）（南相馬市）
- ▷ ウェザーニューズ＝災害被害情報収集システムの日常活用による安全・安心なまちづくり支援（浪江町）
- ▷ DeNA＝防災をテーマにした子どもたちへの先端教育、3Dアートワークショップの実施（いわき市、富岡町）
- ▷ ゼンリン＝ドライブレコーダー画像を活用した道路変化点（道路修繕必要箇所）の検知（大熊町、双葉町、浪江町）
- ▷ フジタ＝ドローンを活用した山林測量、山林管理の生産性向上（南相馬市、飯館村）

### 浜通りで民間企業が実施するまちづくりの実証事業

（かっこ内は実施市町村）

ブレイクダウン画像とゼンリン保有の地図情報を活用し、道路の変化点を効率的に検知する。  
復興庁は来年2月28日に富岡町文化交流センター学

びの森で、今年度の実証事業の進捗（しんちよく）状況や課題を共有するため「浜通り復興リビンクラブ」シンポジウムを開く。